



# 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 持田製薬株式会社  
コード番号 4534 URL <http://www.mochida.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 持田 直幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 坂田 中

TEL 03-3358-7211

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	22,359	4.7	4,107	4.8	4,185	2.9	1,940	△27.5
25年3月期第1四半期	21,349	12.2	3,919	254.6	4,066	230.2	2,674	881.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,057百万円 (△10.4%) 25年3月期第1四半期 2,296百万円 (318.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.88	—
25年3月期第1四半期	25.81	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	121,961	89,139	73.1
25年3月期	120,828	88,542	73.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 89,139百万円 25年3月期 88,542百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	13.00	—	14.00	27.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	13.50	—	82.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、26年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

株式併合を考慮しない場合の26年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は16円50銭(記念配当3円を含む)となり、1株当たり年間配当金は30円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※26年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当 67円50銭 記念配当 15円00銭

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,500	2.0	6,200	△22.5	6,300	△22.9	3,900	△24.3	37.95
通期	94,000	5.4	14,500	3.4	14,600	2.9	9,300	1.6	452.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成26年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。

詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	113,000,000 株	25年3月期	113,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	10,236,252 株	25年3月期	10,219,828 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	102,767,142 株	25年3月期1Q	103,620,977 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成25年6月27日開催の第75回定時株主総会において、単元株式数の変更及び株式併合について承認可決され、平成25年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株に変更し、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であります。これに伴い、株式併合考慮前に換算した平成26年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成26年3月期の配当予想
- 1株当たり配当金
  - 第2四半期末 13円50銭(注1)
  - 期 末 16円50銭(注2)
2. 平成26年3月期の通期の業績予想
- 1株当たり当期純利益
  - 期 末 90円50銭

(注1)第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払われます。

(注2)株式併合考慮前に換算した配当額であります。また、記念配当3円00銭を含んでおります。

(注3)26年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は30円00銭となります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
4. 補足情報 .....	8
(1) 主要製品の売上高 .....	8
(2) 医薬品開発状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内経済は、政府・日銀一体となった金融・財政政策等により円高是正および株価回復が進み、景況感改善の兆しが見えてきました。医薬品業界は、社会保障費財源確保の問題を背景とする継続的な薬剤費抑制政策の影響を受け、また企業間競争も加速しており、引き続き厳しい事業環境にあります。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループ（当社および連結子会社、以下同じ）は前期に引き続き、グループ経営体制の整備、人員の適正化、全社的な生産性の向上への取り組みなど、経営全般にわたる業務改革を推進いたしました。医薬品関連事業では、重点領域の循環器、産婦人科、皮膚科、救急、および精神科にリソースを集中し、スペシャリティファーマを目指して、主力製品を中心とした学術情報提供活動を積極的に展開いたしました。また、ヘルスケア事業は、敏感肌のための基礎化粧品のエキスパートとして事業活動を行い、マーケティングの強化に努め市場開拓を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、223億5千9百万円、前年同期比4.7%の増収となりました。

これを事業別に見ますと、医薬品関連事業は、速効型食後血糖降下剤「ファスティック」等が前年同期を下回りましたが、高脂血症・閉塞性動脈硬化症治療剤「エパデール」、抗うつ剤「レキサプロ」および子宮内膜症治療剤「ディナゲスト」等が前年同期を上回る売上高となり、売上高は214億2千4百万円、前年同期比4.8%の増収となりました。なお、バイオ後続品G-CSF製剤「フィルグラスチムBS 注シリンジ『モチダ』」は平成25年5月より販売を開始しております。

ヘルスケア事業は市場が低迷しているなか、抗真菌剤配合シャンプー・リンス等の抗菌ケア製品「コラージュフルフルシリーズ」が堅調に推移し、売上高は9億3千4百万円で、前年同期比2.4%の増収となりました。

次に当第1四半期連結累計期間の利益面ですが、医薬品関連事業の売上高増に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は41億7百万円、前年同期比4.8%の増益、また経常利益は41億8千5百万円で前年同期比2.9%の増益となりました。四半期純利益は、投資有価証券評価損の計上により19億4千万円で前年同期比27.5%の減益となりました。

研究開発の状況につきましては、創薬研究所は独創的グローバル新薬の創製を目指して、引き続き、慢性疼痛、糖尿病・肥満の2分野にテーマを集中して活動いたしました。国内外の機関との共同研究等により研究活動の効率化を図り、敗血症治療薬（抗体医薬）、TRPV1拮抗薬の導出活動にも積極的に取り組んでおります。

臨床開発面では、肺動脈性肺高血圧症治療剤「MD-0701」が製造販売承認申請中で、高血圧症治療用の配合剤「AJH801」（シルニジピン/バルサルタン配合剤）は味の素製薬株式会社が製造販売承認申請中です。その他の開発パイプラインの進捗としては、潰瘍性大腸炎治療剤「MD-0901」の臨床第Ⅲ相試験、「レキサプロ」の社交不安障害の臨床第Ⅲ相試験、「ディナゲスト」の子宮腺筋症の臨床後期第Ⅱ相試験、「ベセルナ」の尋常性疣贅の臨床前期第Ⅱ相試験をそれぞれ実施中です。

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は27億8千1百万円です。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、1,219億6千1百万円となり、前連結会計年度末比で11億3千2百万円増加いたしました。

資産の増加は、主に投資有価証券の時価下落により投資その他の資産が減少しましたが、棚卸資産や繰延税金資産が増加したためです。負債・純資産の増加は、主に配当金、法人税等の支払がありました。支払手形及び買掛金の仕入債務の増加や四半期純利益により増加したためです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、今後も厳しい状況が継続すると考えられますが、ほぼ計画に沿った業績で推移しているため、平成25年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,109	29,351
受取手形及び売掛金	27,784	28,047
有価証券	11,334	11,335
商品及び製品	9,501	9,336
仕掛品	1,387	1,858
原材料及び貯蔵品	3,498	3,541
繰延税金資産	2,909	3,426
その他	1,167	1,454
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	86,692	88,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,124	6,990
機械装置及び運搬具（純額）	2,154	2,051
土地	6,093	6,093
その他（純額）	1,304	1,812
有形固定資産合計	16,677	16,948
無形固定資産	621	539
投資その他の資産		
投資有価証券	10,071	9,240
繰延税金資産	1,932	1,914
その他	4,833	4,968
投資その他の資産合計	16,837	16,123
固定資産合計	34,136	33,611
資産合計	120,828	121,961

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,284	10,918
短期借入金	875	875
未払法人税等	2,499	1,809
賞与引当金	2,669	1,225
その他の引当金	1,004	797
その他	8,020	10,214
流動負債合計	25,354	25,840
固定負債		
退職給付引当金	5,494	5,657
その他	1,438	1,323
固定負債合計	6,932	6,981
負債合計	32,286	32,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,229	7,229
資本剰余金	1,872	1,872
利益剰余金	87,062	87,563
自己株式	△9,336	△9,357
株主資本合計	86,827	87,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,714	1,832
その他の包括利益累計額合計	1,714	1,832
純資産合計	88,542	89,139
負債純資産合計	120,828	121,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	21,349	22,359
売上原価	7,739	8,152
売上総利益	13,610	14,206
返品調整引当金戻入額	3	6
差引売上総利益	13,613	14,212
販売費及び一般管理費	9,693	10,105
営業利益	3,919	4,107
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	98	63
その他	56	38
営業外収益合計	162	106
営業外費用		
支払利息	9	7
支払手数料	5	5
為替差損	—	14
その他	0	1
営業外費用合計	15	28
経常利益	4,066	4,185
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
投資有価証券評価損	—	1,012
特別損失合計	0	1,013
税金等調整前四半期純利益	4,065	3,172
法人税等	1,391	1,232
少数株主損益調整前四半期純利益	2,674	1,940
四半期純利益	2,674	1,940

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,674	1,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△378	117
その他の包括利益合計	△378	117
四半期包括利益	2,296	2,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,296	2,057



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 主要製品の売上高

### 主要製品の売上高

(平成26年3月期 第1四半期実績)

(単位：億円)

製 品 名	前 期 平成25年3月期		当 期 平成26年3月期		対前年 同四半期 増減率 (%)
	第1四半期 実績	年間 実績	第1四半期 実績	年間 見込	
高脂血症・閉塞性動脈硬化症治療剤 エパデール	91	372	96	362	+ 5
持続性Ca拮抗降圧剤 アテレック	31	121	30	120	△ 3
抗うつ剤 レクサプロ	7	61	13	101	+ 63
子宮内膜症治療剤 ディナゲスト	17	71	19	76	+ 14
抗ウイルス剤 アラセナーA	5	22	5	22	△ 5
速効型食後血糖降下剤 ファスティック	6	19	4	19	△ 33
膵炎・ショック治療剤 ミラクリッド	4	18	4	17	△ 9
血液凝固阻止剤 ノボ・ヘパリン	4	18	4	17	+ 2
自律神経調整剤 グランダキシン	3	13	3	12	△ 8
尖圭コンジローマ・日光角化症治療薬 ベセルナ	2	8	2	12	△ 0
真菌症治療剤 フロリード	3	11	3	11	+ 4
子宮内膜症・子宮筋腫治療剤 スプレキュア	2	10	2	10	△ 11
後発品	11	44	12	63	+ 5
スキンケア製品	9	40	9	42	+ 2

※レクサプロは、自社販売と田辺三菱製薬株式会社への販売の合算

## (2) 医薬品開発状況

## 医薬品開発状況

開発番号(製品名、一般名など) : 導入先など			
開発段階	適応症	剤型	備考
AJH801(未定、シルニジピン/バルサルタン配合剤) : 味の素製薬(株)と共同開発			
承認申請中	高血圧症	経口剤	平成24年10月申請
MD-0701(未定、トレプロスチニル) : 米国ユナイテッド・セラピューティクス社から導入			
承認申請中	肺動脈性肺高血圧症	注射剤	平成25年4月申請
MD-0901(未定、メサラジン) : 英国シャイア・ファーマシューティカルズ・グループ社から導入			
臨床第Ⅲ相	潰瘍性大腸炎	経口剤	
MLD-55(レキサプロ、エシタロプラム) : デンマーク ルントベック社から導入			
臨床第Ⅲ相	社交不安障害	経口剤	<効能追加>
MND-21(エハデール、イコサペント酸エチル)			
臨床第Ⅱ相終了	非アルコール性脂肪肝炎	経口剤	<効能追加>
MJR-35(テイナゲスト、ジエノゲスト) : 独国イェナファーム(ハイエル・ファーマAG)社から導入			
臨床後期第Ⅱ相	子宮腺筋症	経口剤	<効能追加>
MTD-39(ベセルナ、イキモト) : 豪国アイノバ・ファーマシューティカルズ社から導入			
臨床前期第Ⅱ相	尋常性疣贅	外用剤	<効能追加>

・平成25年3月期 決算短信(平成25年5月13日公表)より変更なし